

事業区分
金銭給付

平成27年度 事務事業評価シート

事務事業名	老人クラブ活動援助				所管	健康部	
						健康課	
事務事業の概要	事業の開始・終了年度		[事業開始] 昭和 3 5 年度	[終了予定]	- 年度		
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	老人クラブ助成金交付要綱、老人クラブ健康づくり事業補助金交付要綱、老人クラブ運営要綱、台東区老人クラブ功績者感謝状贈呈要綱			
	事業対象	台東区内の老人クラブ					
	事業目的	社会奉仕活動、友愛活動、生きがいを高める活動、健康づくりを進める活動などを行う地域で自主的に組織された老人クラブに対し、運営費の助成や情報提供をするなどその活動を支援する。					
	事業内容	(1)老人クラブ助成(単位クラブ 会員数により3段階 月額17,000円、19,000円、21,000円) (2)老人クラブ園芸教室開催 春・秋 31クラブ分 (3)輪投げ大会開催 年1回 (4)老人クラブ広報紙「朗友」の発行 年2回 (5)老人クラブ功績者感謝状贈呈 年30人程度 (6)健康教室事業助成 300,000円					
	委託の有無	なし	委託内容				
	補助金の有無	都					
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	24年度	25年度	26年度
	活動指標	助成件数	件	120	120	120	119
		成果指標	助成対象事業活動回数(1クラブ当たりの平均)	回	464	464	430
	決算額 (単位：千円)				28,350	28,235	28,055
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)			10,156	11,930	11,902
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			931	1,031	1,199
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			27,420	27,204	26,856
		総経費			38,507	40,165	39,957
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			3,656	3,656	3,627
一般財源(区負担額)			34,851	36,509	36,330		
前回評価から改善した事項	27年度より、前年度の決算報告で、特別の理由がなく繰越金が助成金額(年額)を超えているクラブには、助成金の支給をしないこととした。						
評価の視点	評価	評価の理由					
	必要性	3	老人クラブ数はやや減少傾向にあるものの、区内の高齢者人口は増加しており、地域の高齢者が社会参加をして活動するためにも、本事業は必要である。				
	効率性	3	コストの主な部分は各老人クラブへの助成金である。各クラブで様々な活動をするための費用を、助成金で援助することは効率的である。				
	手段の適切性	4	老人クラブの活動は自主活動であるため、活動費の助成という手段は適切である。また、広報誌の編集や、輪投げ大会の運営、園芸花壇の管理は老人クラブ会員により行われており、他の手段を検討する余地はない。				
目的達成度	3	各老人クラブが自主性を持って様々な活動をしており、この事業目的はおおむね達成している。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
老人クラブは、地域で自主的に社会奉仕・健康づくりを進める・生きがいを高める等の活動を行っている。高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らし続けていくために、老人クラブの活動に対し継続的に支援を行う必要がある。					維持		